

松戸市環境未来会議 結果報告

市民会議開催概要

会議愛称：松戸市環境未来会議

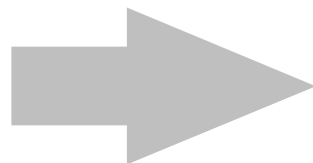
開催日：第1回 令和5年10月15日（日）
第2回 令和5年11月12日（日）
第3回 令和5年12月17日（日）



参加者の構成

松戸市民

無作為抽出
(1,000人)



参加者

24人

【平均年齢】

松戸市:47.1歳(令和5年4月1日)

本会議:43.6歳

【男女比】

松戸市:男 49.7% 女50.3%

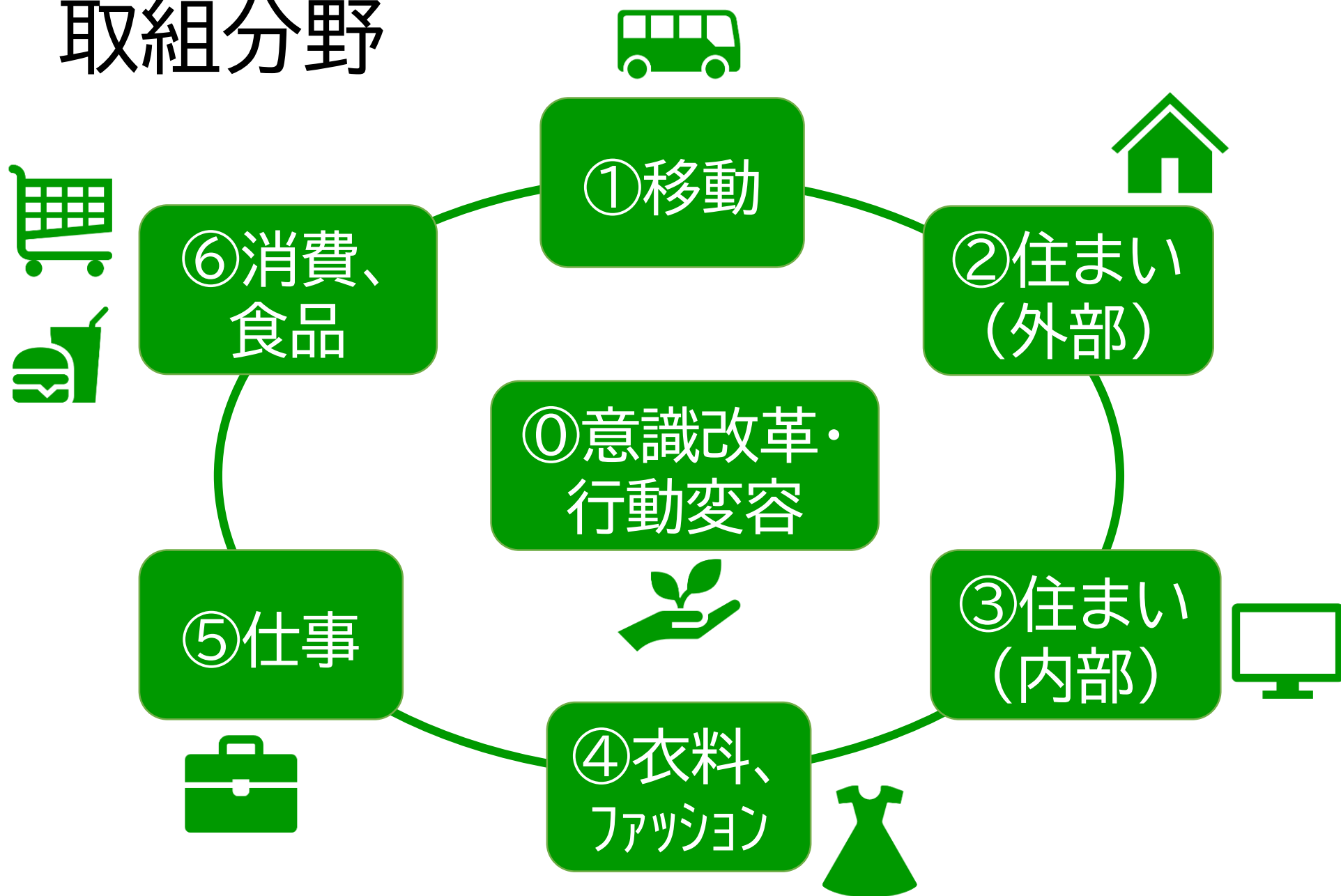
本会議:男 50% 女50%

会議の実施内容

	第1回 (10月15日)	第2回 (11月12日)	第3回 (12月17日)
情報提供	「気候市民会議の意義」 「地球温暖化対策について」		
グループワーク	【アイスブレイク】 自己紹介 【グループワーク①】 温暖化によって私たちが困ることは何か？ 【グループワーク②】 私たちの暮らしで温暖化を引き起こす大きな要因は何か？	【前回の振り返り】 【アイスブレイク】 【グループワーク③】 温暖化の要因に対して取り組むべきことは？ 【グループワーク④】 重要な取組を選ぶ	【前回の振り返り】 【アイスブレイク】 【グループワーク⑤】 取組案の修正 【グループワーク⑥】 取組案の評価
	【総評】 【次回向けて】	【脱炭素政策案の説明】 【グループワーク】 大事だと思ったこと、分からなかったこと 【総評】 【次回向けて】	【脱炭素政策案への意見】 【グループワーク】 前回の不明点に回答 脱炭素政策案への意見出し 【総評】
	参加者交流 検討の主旨の共有	取組の検討 脱炭素政策案の説明	取組案のまとめ 脱炭素政策案への意見

松戸市環境市民会議
取組まとめ（案）

取組分野





市民が取り組む地球温暖化対策



① 意識改革・行動変容に関する取り組み

1. 地球温暖化対策と生活を両立できるよい取り組みを知り、考え、共有して、自分ができることからまず始めてみる。
2. 地球温暖化に関する情報に積極的に触れるようにする。
3. 家庭、学校、職場、地域の集まり等で地球温暖化を話題にする。
4. 環境教育を通じて「もったいない」の精神を育み、子供と大人がともに学び成長する。

① 移動に関する取り組み

5. リモート等を活用し、移動時間を有効活用する。
6. 移動するときにはできるだけ公共交通機関や自転車、徒歩、カーシェアを活用して、効率的に移動する。
7. 自動車を購入する際は、EVやHVなどのエネルギー効率の良い車、ちょうどいい大きさの車を購入する。



市民が取り組む地球温暖化対策



② 住まい(外部)に関する取組み

8. 住宅やマンションへの太陽光発電設備や蓄電池の導入を検討する。
9. 再生可能エネルギー由来の電気を積極的に使用する。
10. 新築時や改修時に、断熱性能の高い窓、壁、床等を積極的に導入する。
11. 給湯等の設備は高効率なものを積極的に導入する。
12. グリーンカーテンなど、緑化を生活に取り入れる。

③ 住まい(内部)に関する取組み

13. 家電を買うときはできるだけ省エネ性能の高いものを選択する。
14. 照明をLEDに変更する。
15. 節電、節水を心掛ける。〇〇しっぱなしにしない。
16. 家族はできるだけ一部屋に集まって過ごす。規則正しい生活を心掛け、夜更かしによる電気の使用を減らす。



市民が取り組む地球温暖化対策



④ 衣料、ファッションに関する取組み



17. 気温に合わせた服装を身に着け、エアコンの設定温度を控えめにする。
18. 流行に過度に流されず、着る分だけ衣料を購入する。リユース・リサイクル品の衣料を積極的に購入する。
19. 衣料を長く大切に着用し、衣料の廃棄を少なくする。
20. 着なくなった衣類は、安易に捨てずにリユース、リサイクルする。

⑤ 仕事に関する取組み



21. テレワークやリモート会議をできるだけ活用し、効率的に仕事をする。
22. 通勤はできるだけ公共交通機関を利用する。
23. 効率よく仕事をして、残業による電気の使用を減らす。



市民が取り組む地球温暖化対策



⑥ 消費・食品に関する取組み

24. マイバックやマイボトルを持参し、使い捨てにしないようにする。
25. 使い捨てのプラスチックのスプーン等なるべく使わないようにする。
26. 詰め替えがある商品を選択する。過剰包装は遠慮する。
27. ごみの分別を徹底して、リサイクルできるものはリサイクルする。
28. 地産地消で地元のものを購入し、地元の農家を応援する。
29. 食べきれる量を購入・注文する。「てまえどり」をして食品ロスを減らす。
30. 生ごみはコンポスト(堆肥)化して活用する。
31. 市民レベル、町会レベルでごみの減量の方法を話し合う。
32. 過剰なサービスを求めない。環境負荷の高いサービスはできるだけ使わない(24時間営業、再配達など)。



行政への提案



● 行政への提案、意見

- 二酸化炭素の排出量や排出量削減の効果を見える化できないか？
- ポイント等の金銭的なインセンティブを使い、行動変容を促すことはできないか？
- 紙おむつなど、もっとリサイクルできるものはないか？
- 市民への広報や普及啓発に力を入れてほしい。
- 小学校等での環境教育に力を入れてほしい。
- 設備等の導入の補助制度の強化、制度の認知度の普及を進めてほしい。
- 利便性の高い公共交通機関の拡充を考えてほしい。
- 市民に正しい情報をさらに発信してほしい。

【参考】

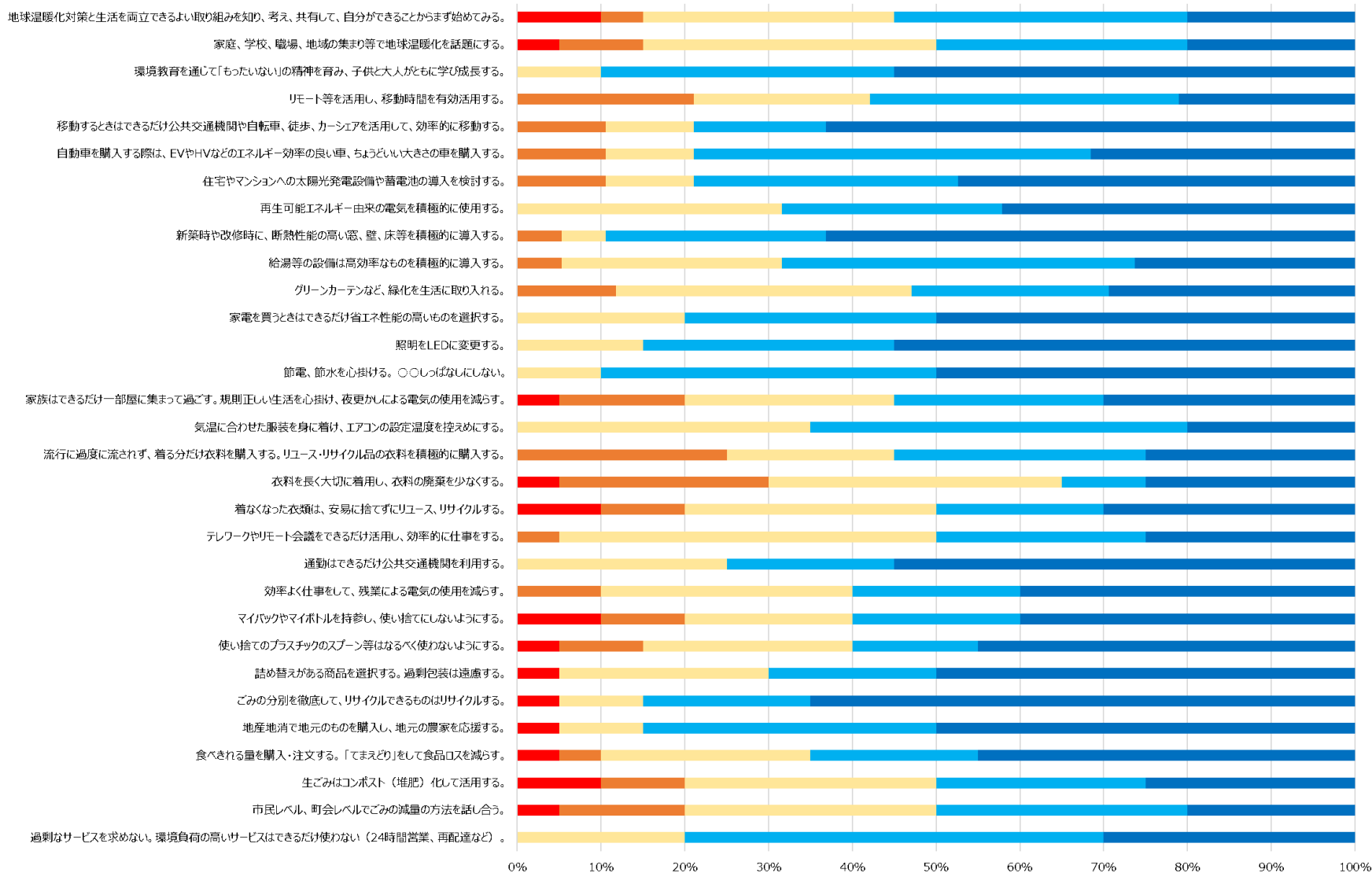
「①意識改革・行動変容に関する取組み」(P2)の記載に関する各班のから出された記載案は以下の通りです。

班	記載内容
【1班】	生活と地球温暖化対策の両立のため、思いやりのある取組みを考える。
【2班】	環境を傷つける行動を慎むために、まず一つ自分ができる取組みを考える。
【3班】	生活と地球温暖化対策を両立できる良い取組みを知る、やる、共有する。
【4班】	生活と地球温暖化対策の両立のため、優先順位を考える。
【5班】	生活と地球温暖化対策を両立のため、無理をせず、自分で意識できることから始めて習慣化する！

取組の評価アンケート結果①

効果の高さ（低→高）

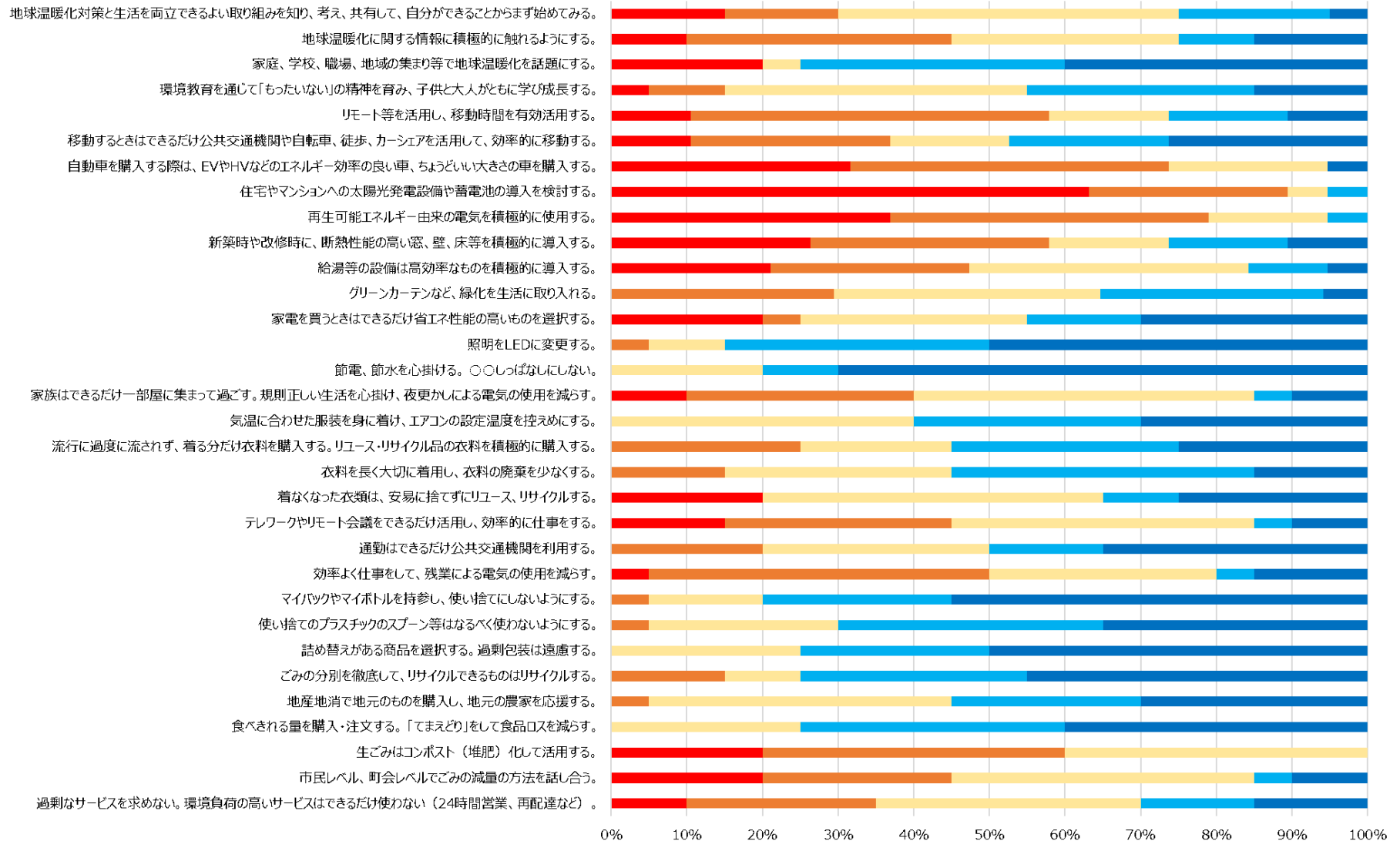
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



取組の評価アンケート結果②

取組み易さ（難→易）

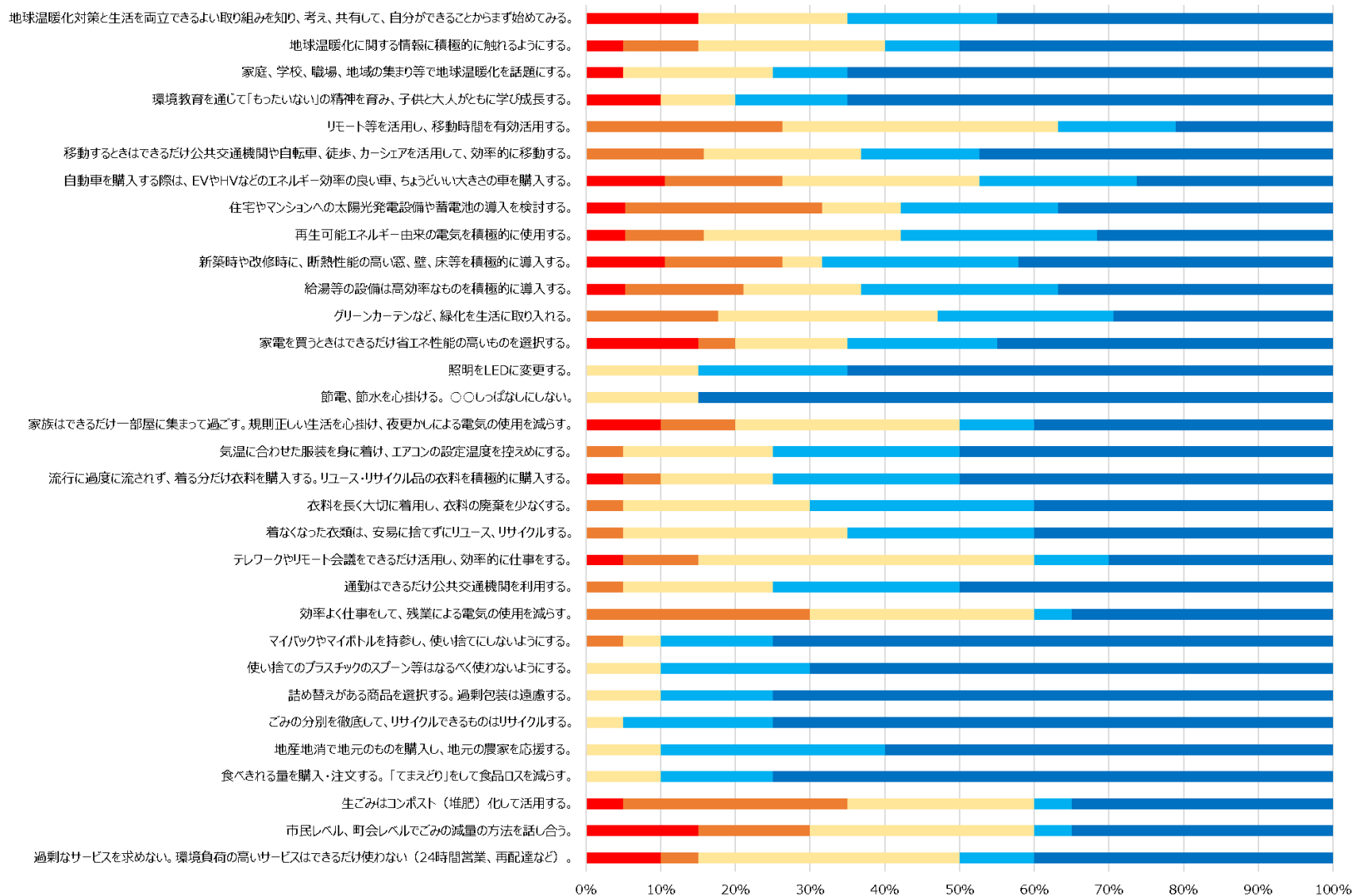
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



取組の評価アンケート結果③

取組み時期 (遅→早い)

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



松戸市環境未来会議の結果に係る論点について

脱炭素政策案に係る意見のまとめ

松戸市環境未来会議で有識者会議の検討状況を説明し意見を貰った内容について整理すると以下の通り。

【再エネ導入制度に係る意見】

- ▶ (脱炭素に関する)目標と現状をわかりやすく公表しては。
- ▶ 工業地帯などでの再エネ条例制定、環境に配慮した企業の誘致を行っては。
- ▶ 緊急時に電源が必要な事業者に対しては優先的導入をできるようにしては。
- ▶ ZEH等を含めた補助事業の拡充を行うとともに、取組を行う者への普遍的な支援策を。

【再エネ促進区域に係る意見】

- ▶ スマートグリッドも見据えた取組を進めて欲しい。

【公共施設の脱炭素化】

- ▶ 災害時、避難場所にもなる学校等に太陽光発電を導入していくべき。
- ▶ 市有施設へもっと太陽光発電を設置できるのではないか。

【その他意見について】

- ▶ 松戸市の脱炭素についてもっと施策の情報をわかりやすく発信してほしい。
- ▶ この会議でこのような話を聞けて（情報を得られて）良かった。
- ▶ 紙おむつのリサイクルを子育てのまちとして積極的に推進してほしい。

その他市民会議の成果について

市民会議の取組結果は「(仮称)市民行動プラン」として取りまとめて公表し、取組の普及に努めます。また、その他頂いて意見としてZEH等補助金の拡充に努めていきます。

重点施策案に関する意見

- 学校は災害時、避難場所にもなるし、やはり、学校に太陽光発電はたくさんすべき。避難場所への設置。
- 自治会集会所にも設置義務と補助金を蓄電池とセットで。
- 事業所への優先導入（福祉事業所）
- 市有施設への太陽光少ない？もっと再エネを置ける場所あるのでは？
- お金とものを準備してくれるならパネル置くかも。
- スマートグリッド化を見据えて欲しい(防災目線も)。
- 補助事業の拡充(他と併用できるように)。
- 補助金は先に申請した人のみもらえる制度。やりたい人には全員に補助があるように。
- 市が行っている施策について知らなかった。施策の情報をわかりやすく発信してほしい。
- 目標と現状をわかりやすく公開。
- この会議でこのような話を聞いて（情報を得られて）良かった。
- 市長がもっと主張すればよい(松戸市の脱炭素について)。
- ZEH（特に）予算を持ってほしい。断熱の補助事業を。
- 工場群に再エネ条例(を作っては)？
- 2050年にゼロにするためには、もっと他の所へテコ入れすべきでは？
- 民間企業と協力する！
- 紙おむつのリサイクルを子育てのまちとして積極的に推進してほしい。
- 環境に配慮した商品・サービスの企業誘致。